

「自ら学ぶ子供の育成」に向けて

南会津の教育の主な強みと強み

南会津は、少人数を主眼とする教育活動を展開することができ、

① 子供の学びの姿をイメージする
② 反応やつぶやきを拾う
③ 子供のつまずきに寄り添う
④ 複式学級の指導形式のよさを取り入れる

⑤ 子供の聞き合う力を高める
⑥ 「卓球型」から「バレーボール型」で話し合う力を高める
⑦ アウトプットする場を設定する
⑧ 学び方のよさを実感させる

南会津の教育の主な強みと強み

南会津は、少人数を主眼とする教育活動を展開することができ、

① 子供の学びの姿をイメージする
② 反応やつぶやきを拾う
③ 子供のつまずきに寄り添う
④ 複式学級の指導形式のよさを取り入れる

⑤ 子供の聞き合う力を高める
⑥ 「卓球型」から「バレーボール型」で話し合う力を高める
⑦ アウトプットする場を設定する
⑧ 学び方のよさを実感させる

過去の各学力調査や各校の学力向上グランドデザイン等を分析すると、「児童生徒の主体性」を育むことが毎年のように課題となっており、児童生徒による主体的な教育活動や授業への参加が求められていることがわかります。本教育事務所では、昨年度より「自ら学ぶ子供の育成」を学校教育指導の重点に位置付け、各種事業を展開しています。そして、課題解決の一助とすべく、令和5年2月に「自ら学ぶ子供の育成リーフレット」及び具体的な授業イメージを示した「補足資料」を作成し、域内の各小・中学校の全教員に配付させていただきました。本リーフレットは、児童生徒の主体性を育む授業づくりの他、学級づくりにも生かせるポイントを示しています。しかし、特効薬ではありません。毎日の継続した実践と8つのポイントを意識した授業づくりが重要です。各校でぜひ御活用ください。

大切にしたい「8つのポイント」

- ① 子供の学びの姿をイメージする
- ② 反応やつぶやきを拾う
- ③ 子供のつまずきに寄り添う
- ④ 複式学級の指導形式のよさを取り入れる
- ⑤ 子供の聞き合う力を高める
- ⑥ 「卓球型」から「バレーボール型」で話し合う力を高める
- ⑦ アウトプットする場を設定する
- ⑧ 学び方のよさを実感させる

「8つのポイント」を効果あるものにしていくために

- ① 授業構想で育成したい資質や能力が育まれた姿を具体的な子供の姿でイメージしましょう。
- ② つぶやいたり、反応したりすることの意味を子供に伝えましょう。
- ③ つまずきの原因をみんなで考えることで、学びが高まるためのポイントとなる部分が明確になったり、間違えることへの安心感が生まれやすくなります。
- ④ 子供たちに任せる時間を設けることで、受動的な学びから主体的な学びへと変換していきます。教師は、子供と共に学ぶ学級の一人として関わることが求められます。
- ⑤ 子供が教師に対して話す場面と友達に向かって話す場面を区別していきましょう。教師に対して話す場面でも、「問いを引き出すために、学びを深めるために大切だ」と教師が感じた発言は、友達に向かって話すようにさせたり、聞いている子供に「今の言葉で大切なことは何かな」などと問い返したりすることも必要です。
- ⑥ 話し合わせたいことを明確にして授業に臨み、子供たちに、何のために話し合うのかという目的をもたせていきましょう。
- ⑦ 学びは、振り返りによってより深く意味付いていきます。ノートにまとめを書いて終わりではなく、全員が言葉にして発する(アウトプットする)ようにしましょう。
- ⑧ 「次の授業ではこうなりたい」、「もっと自分たちで学べるようにしたい」、「この前よりもここがよくなった」など次の授業への意欲付けの繰り返し、子供たちのよりよい授業イメージにつながっていきます。

4月3日 「新採用教職員辞令交付式」

域内9名の新採用教職員に対し、所長より辞令を交付しました。また、只見中学校の長谷川教諭が新採用教職員を代表して誓いの言葉を述べました。「社会人として、教職員として、心身ともに健康で、高い倫理観と自律心を持ち、信頼される教職員を目指します」という力強い言葉と表情から、決意の強さが伺えました。南会津の教職員の一員として共に高め合っていきましょう！



4月20日 「初任者研修地区別研修A 一般研修」



研修者の振り返りシートより

- 自分がどのような教師になりたいのかというビジョンを持ち、成長していくことが子供達のためにも大切だと気付いた。
- 授業力と集団育成力を高めたい。
- 楽しさだけではなく、難しさもワクワク感につながることを学んだ。難しさ乗り越えていきたい。
- 「自ら学ぶ子供の育成リーフレット」の内容をしっかりと理解し、多様性ある授業づくりを実践していきたい。
- 教職員全員で目標を確認し、反省と改善を繰り返していくことの大切さが分かった。
- 失敗を恐れずに努力していきたい。



4月25日 「中堅教諭等資質向上研修」

研修者の振り返りシートより

- 授業に対し、新しい考え方をもって改善していかなければならないと学んだ。「自ら学ぶ子供の育成リーフレット」を常に目に見える場所に置いて活用しようと決めた。
- 服務について曖昧に理解していたことが多くあり、再確認できてよかった。不祥事を起こさないよう気を引き締めたい。
- 学校現場には課題ばかりがあるように思っていたが、他校の工夫された取組を聞いて、まだ取り組むべきことがあると気付いた。声に出し、アイデアを共有・実践していくことが大切だ。



今後も各種研修会の様子を発信していきます。4月の研修会では、教育目標や各種教育活動の目標を理解し、子供たちがその目標を具現した姿をイメージしていくことや、子供が主体となった教育活動を展開していくことの重要性を感じている様子が伺えました。

教育事務所として、今年度はより先生方に目的意識をもって参加していただけるようなニーズに即した研修会等を開催していきます。

